

こころのはな

道徳 5年「心のレシーブ」 (友情, 信頼)

資料「心のレシーブ」をもとに、『男女がすれ違い、バラバラだったチームがひとつにまとまることができた理由』について、みんなで考えました。

資料では、球技大会に向けてやる気満々、スポーツが得意な女子たちと、どこでもいいという理由でバレーを選んだ、運動があまり得意ではない男子たちが登場します。どこかやる気のない様子の男子たちに、つい強く接してしまう女子たちでしたが、男子が毎日放課後に自主練習を重ね、勝つために努力していることを知ります。練習試合後に、「ごめん。ぼくのせいで負けちゃった。」と話す男子に、「ううん。わたしのほうこそ、二人ががんばっていたことを知らなくて。」と声をかけます。お互いの「勝ちたい気持ち」と「頑張り」に気づいたことが、男女の心が通い合うきっかけとなり、チームとしてまとまることができました。

お互いを理解し合い、よさを認め合うことで、集団としてさらに大きな力が発揮できるということに、改めて気づくことができた一時間でした。

見つけよう！みんなの「いいね！ポイント」

(友情, 信頼)

「心のレシーブ」の学習に合わせて、学級のみんなの「いいね！ポイント」を見つける活動をしました。学級の友だち一人一人のよさについて考え、それぞれのよさを友だちのワークシートに書いていきました。鉛筆が止まることなく、さらさらと書いていく姿が印象的でした。

自分の元にワークシートが戻ってきたときに、友だちが書いてくれた自分の「いいね！ポイント」を見て、本当に嬉しそうにしていました。自分のよさは、自分ではなかなか気づきにくいものですが、友だちが見つけてくれた「いいね」を大切に、自信を持って、そのよさを生かして行ってほしいです。また、友だちのよさを取り入れながら、自分のよさを増やすことや、新たに見つけた友だちの「いいね」を積極的に伝えることも大切にしてほしいと思います。

ご家庭でも毎日頑張っている子どもたちのよさを、本人に伝えてあげてください。

ふり返しより

- ・こんなに自分にいいところがあると知ってびっくりしました。すごく嬉しいです。
- ・自分にこんないいところがあるなら、もっといいところを増やすために頑張りたいです。
- ・自分のいいねを続けて、友だちのいいねを真似して、もっといいところを増やしたいです。
- ・ほかの人の長所を探す内に、その人にはこんなよさがあったのかと気づきました。
- ・たくさん友だちのよさを知ることができました。もっと友だちのよさを見つけないです。
- ・いいねを伝え合うことはとても気持ちのよいことだなと思いました。

